




代表質問通告書一覧 (3月3日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(34番) 米田 忠則 (自由民主党)</p>	<p>1 新年度予算について</p> <p>「地域の自立を図り、暮らしやすい奈良をつくる」ため、平成29年度当初予算は、どのようなところに重点を置いて編成したのか。</p> <p>2 産業構造の改革について</p> <p>知事は産業構造の改革を目指し、新産業の創出と地域産業の支援を両輪として進めていくとしているが、来年度、それぞれどのように取り組んでいくのか。また、他県に比べ、本県には小規模な企業が多く、地域産業の支援にあたっては小規模企業の振興が不可欠と考える。今議会に「小規模企業振興基本条例」を提案されているが、小規模企業の振興について、どのように進めていこうと考えているのか、併せて伺いたい。</p> <p>3 文化の振興について</p> <p>本県は芸術・文化を行う県民の割合が他県よりも高いという調査結果も踏まえ、今後の本県の文化振興施策の方向性や取組の柱をどのように考え、どのような施策を進めていくのか。</p> <p>4 女性の活躍推進について</p> <p>本県の経済がさらに発展していくためには、女性が本来持っている力を十分に発揮し、活躍できる社会にすることが不可欠であると考えているが、女性の活躍推進について、来年度、どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(34番) 米田 忠則 (自由民主党)</p>	<p>5 市町村との協働によるまちづくりについて</p> <p>県では、まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村との協働により、地域性を活かした、賑わいのある住みよいまちづくりを進めているが、市町村との協働によるまちづくりについて、これまでの取組状況はどうか。また、今後どのように進めていこうと考えているのか。</p> <p>6 奈良公園の魅力向上について</p> <p>奈良公園の豊かな資源を活かしつつ、奈良公園をさらに魅力溢れるものにするために、現在の取組状況と今後どのような取組を進めていくのかについて伺いたい。</p> <p>7 奈良の「食」の魅力創造・発信について</p> <p>県では、魅力的な「食」づくりに向け、様々な努力をしているが、本県のポテンシャルを考えるとまだまだ取り組む余地は多くあると考える。これまでの取組を踏まえ、来年度は奈良の「食」の魅力創造・発信に向け、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>8 教育環境の充実について</p> <p>昨年策定された「奈良県教育振興大綱」では、「安心・安全で質が高い教育環境の整備」が施策の方向性の一つとして謳われており、県立高校の耐震化や空調整備などは、急務の課題である。県立高校等の教育環境の充実に向け、今後、どのように取り組んでいこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(26番) 萩田 義雄 (自民党奈良)</p>	<p>1 県税収入の確保について</p> <p>「地域の自立を図る」には、自主財源である県税収入を確保していく取組に一層の創意工夫が必要と考えるが、県税収入を堅実に確保していくため、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(26番) 荻田 義雄 (自民党奈良)</p>	<p>2 企業誘致について</p> <p>今日までの企業誘致の取組による、税収効果と雇用創出の成果はどの程度あったのか。また、これまでの立地企業1社あたりの敷地面積は、全国平均と比べ小規模なものになっているが、今後、大規模な企業立地に繋げていくため、どのように取り組まれて行くのか。</p> <p>3 観光振興について</p> <p>(1) 年間を通じた様々なイベント開催によるにぎわいづくりなどに取り組んだ結果、本県の宿泊観光客は増加し、地域の活性化に貢献しているが、まだまだ伸びる余地は大きいと考える。今年度までの成果を踏まえ、来年度はどのような観光振興施策を展開していくのか。</p> <p>(2) 大宮通り新ホテル・交流拠点整備について、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年のまちびらきに向けた進捗状況と今後の進め方について伺いたい。</p> <p>(3) 整備が進む平城宮跡歴史公園拠点ゾーンの規模や機能、開園に向けたスケジュールについて伺いたい。</p> <p>また、朱雀大路を挟んだ東側の県整備区域は、平城宮跡の玄関口の装いを整えるためにも、早期の事業実施が必要と思うが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>4 経済活性化に資する道路整備について</p> <p>(1) 京奈和自動車道郡山下ツ道ジャンクションから(仮称)奈良インターチェンジ間の進捗状況と国への要望を含めた今後の見通しはどうか。</p> <p>(2) 国道308号大宮道路高架部から宝来ランプへの乗り入れの円滑化のための改良について、今日までの進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
(26番) 荻田 義雄 (自民党奈良)	5 リニア中央新幹線の整備促進について 平成28年度は県内の動植物の生息状況等について調査を実施しているが、その現在の状況と今後の取組について伺いたい。	知 事
	6 医療体制の整備について (1) 奈良県立病院機構の現在の経営状況を踏まえ、西和医療センターの移転も含めた、今後の経営改善の進め方及び見通しについて、知事の見解を伺いたい。 (2) 3月21日に県独自のドクターヘリが運航を開始し、県南部の川上・川下の救急医療体制が格段に充実すると期待するが、県立医科大学の屋上ヘリポートの完成が来年度になる中、効果的にドクターヘリを運航していくため、どのような運航体制をとられるのか。 (3) 奈良県総合医療センター移転後の跡地利用のまちづくりについて、新年度予算ではどのように取り組まれていくのか。	知 事
	7 障害者施策の充実について 障害者施策については、新規事業の障害者の通院支援など、就労、社会参加、生活支援の観点から、これまで様々な取組を実施されているが、障害者施策の更なる充実に向けた知事の所見を改めて伺いたい。	知 事
	8 市町村の支援について 地方創生の推進のため国から県内市町村に対し様々な交付金が交付されているが、その活用状況と効果について伺いたい。また、急速に人口減少が進んでいる市町村の現況を踏まえ、本県特有の問題を見据えた、県としての市町村支援の今後のあり方について、どのように考えているのか。	知 事

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(26番) 荻田 義雄 (自民党奈良)</p>	<p>9 奈良市内のまちづくりについて</p> <p>(1) 奈良市とのまちづくりに関する包括協定に位置づけられている「八条・大安寺周辺地区」について、県はどのように進めていくのか、今後の見通しについて伺いたい。</p> <p>(2) 近鉄奈良線については、近鉄大和西大寺駅の踏切渋滞解消と平城宮跡周辺地域における渋滞対策として、線路の移設などの調査・検討を行っているが、奈良県・奈良市・近鉄の三者協議を含め、今後どのように進めていこうと考えているのか。</p> <p>10 農業の振興について</p> <p>儲かる農業を目指し、農業所得の向上に向けた県のこれまでの取組と今後の方針について伺いたい。</p> <p>11 大和川流域総合治水対策について</p> <p>県で制定に向け検討している「(仮称)大和川流域における総合治水に関する条例」の検討状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(30番) 宮本 次郎 (日本共産党)</p>	<p>1 奈良公園における開発事業について</p> <p>(1) 日本政策投資銀行が行った「関西4都市宿泊施設業界調査」によると、2030年の予測では、京都・大阪・神戸とも不足が予測される中、奈良では、建設計画中の288室を加えれば348室が余る。一つの試算とはいえ、宿泊室不足という前提は崩れているのではないかと懸念されている。特に、高畑町裁判所跡地の整備予定地は、都市公園「奈良公園」の一部に組み込んだことにより、都市公園法第2条第2項で規定する「便益施設」に相当し、開発許可は要らなくなった。本来「便益施設」というのは、公園の利便性向上のために必要とされるものだが、宿泊料金が一部の人しか利用できない高級ホテルを「便益施設」とするのは、とても無理があるのではないかと懸念されている。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(30番) 宮本 次郎 (日本共産党)</p>	<p>(2) 吉城園周辺地区の整備、高畑町裁判所跡地の整備については、共にどのような計画であっても、きちんと住民や県議会に中身を示して、進めるべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(3) 高畑町裁判所跡地整備の予定地において過去に開発が断念されたことなど、奈良公園におけるこれまでの開発の経過を振り返り、文化財保護の観点から、今回の開発をどのように考えるのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 NAFIC周辺に薬草スパリゾートを整備する構想について</p> <p>予算案では、NAFIC周辺への薬草スパリゾート整備に向けた検討や、セミナーハウスの建設などが予定されているが、果たして上手くいくのか。仮に上手くいったとしても、このような事業に巨額の税金をつぎ込むことは、税金の使い方として納得できない。この点について知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 奈良大立山まつりについて</p> <p>(1) 本来、まつりは内発的動機により発祥し、自発的な取組で発展するものであり、寒い時期に、暗い会場で、動員型のイベントを行う手法は見直すべきではないか。</p> <p>(2) 昨年「5万1千人の来場、10億4千万円の経済効果」と評価されたが、今年の状態を受けて、昨年のこの数値をどのように評価しているのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>4 生活保護行政について</p> <p>(1) 憲法を順守した生活保護行政を行うため、憲法と地方自治法に基づく職員研修を十分に行い、受給者・申請者に丁寧に対応できるケースワーカー体制を確立することが必要と考えるが、知事の考えを伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(30番) 宮本 次郎 (日本共産党)</p>	<p>(2) 生活保護や生活困窮世帯の子どもに対し、希望した進路に進めるよう学習支援を行うことが、貧困の連鎖を断ち切るために重要と考えるが、県の取組を伺いたい。</p>	健康福祉部長
	<p>(3) 生活保護制度と国民健康保険制度の両制度の狭間によって、医療費が双方の給付の対象とならず、個人に高額な医療費負担が生じる事案が発生したが、このような事案が発生することについて、所見を伺いたい。</p>	健康福祉部長
	<p>5 給付型奨学金の創設について</p> <p>本県の場合、県外進学が多いが、将来的に奈良県で就労する、あるいは、奈良県に居住して県外に通勤するような場合などに、返済不要の奨学金を給付することを検討すべきではないか。</p>	知 事
	<p>6 教育問題について</p> <p>点数主義が教育を支配する「学力テスト体制」の中にあつて、奈良県では、不登校問題に取り組む教師が増え、全国の傾向とは逆に、不登校児が減り始めている。まさに、「学力テスト体制」に組み込まれない実践がそこにあり、そのことをもっと評価し、学力テスト体制からの脱却を進めるべきと考える。教育基本法第1条は、その目的に「人格の完成を目指し」と定めている。全国学力テストの順位に一喜一憂するのではなく、教育基本法に基づく人格形成に重点を置いた教育実践が重要と考えるがどうか。</p>	知 事